



No. 338

発行

天理教山口教務支庁

〒754-0001

山口市小郡上郷1569番地1

TEL 083-972-5004

FAX 083-972-5003

MAIL kyomu@honey.ocn.ne.jp

3月本部お勤め時間

日	朝	夕
1～15	6:30	6:00
16～31	6:15	6:30



はじめのことば

大島支部長

沖廣正義



先日ある研修会への出向後、一人のご婦人さんから、発達障害のお子さんをお持ちのおたすけ先の事情を、少しばかりお聞かせ頂いた。発達障害のお子さんと聞くと、いつも思い出すのが、お預かりした一人の中学生である。

「会長さん、家の孫が5年も学校に行かないんです。とにかくおちばに連れて行きますから、何とかして下さい。」

そんなあるお婆ちゃんの一言から、教会にお預かりするようになった中学2年のお子さんだ。

教会生活初日、一人寂しいだろうと布団を敷いておくと、その布団のシーツを剥ぎ取り、もう一度自分の思うように敷き直す・・・勉強机の上にシューズを置いてあるので、机から下ろしておくと、「何で勝手に僕の靴を動かした。」と言って、床を叩いてその場所を半日動かない・・・。そんなスタートか

ら始まった彼との生活。色んなトラブルを共に味わいながら、学校にも行けない日々が続いていた。

そんな時、秋の運動会が開催され、彼も参加すると言うのである。学校も彼に出来る役割を考えてくれていた。プログラムが進み、男子の組み体操。一人、二人組体操までは何とか参加できたが、三人組の体操になり、練習をしてない彼がどうするかと見ていると、みんながチームで組体操を作り上げていく運動場の真ん中で、上半身裸の短パン姿で、足を組んでじっと座っているのである。「あいつ、すげえ。あんな中でよく座っ

ていれるなあ。俺にはできない。」運動会から帰り、私は心底感動したことを彼に伝えた。それから、徐々に彼の心の向きが変わっていったように思う。中学3年からは学校に通い始め、色んなトラブルは山のように起こってきたが、高校3年間をつとめ終え、昨年春より、一人の社会人として歩み出した。

「ひとつなんでもいいひとつそれさえあればいきていけるそれからすべてがはじまる」とは、定時制の教師でボクシングを教えていた脇浜先生の言葉だ。

「人間は神様の子ども」とお聞かせ頂く。どんな方にも、必ず輝くものがあるに違いない。先に立つお互いが、共に過ごす家庭、お出会いする方々との中で、どんな小さな事でもいい、ひとつ喜びを見つけ感謝して歩み出す。そんな日々、先の楽しみや喜びが少しずつ少しずつ

広がっていくのであろうか。

祖母母だけだったこの道の歩みも、お孫さんの節を通して、彼のお母さん、そのお母さんの妹さんが修養科へと進まれた。

毎年、祖母母を中心に四家族が集い講社祭をおつとめくださり、昨年は仏壇をお返ししお道に改式なされ、一步一步陽気ぐらしへの歩みを進められている。

「神様から頂くものに悪いものはない・・・。」と、自身に語りかけ、日々を楽しんで歩んで行きたい。

修理巡教について 後藤成実先生 3月御巡教日程【厚狭野支部】

15日 (金)			繁山 分 14:00~	厚狭 分 15:30~
16日 (土)	茅出 分 9:00~	山吉 分 10:45~	糸根 分 13:30~	

学生担当委員会

わかぎスクール

1月20日(日)に教務支庁で『わかぎスクール』が開催されました。今回で8回目となりましたが、この行事は中学3年生を対象に、受験勉強の一助となる勉強会であると共に、次の学生会に繋げる役割も果たしています。

私は前回の開催から、学生担当委員会の委員長さんからお声をかけて頂き、日頃の家庭教師の仕事を活かして、講師としてお手伝いさせて頂きました。本来、中学3年生の受験生が対象ですが、前回から中学生全学年とし、1年生や2年生も参加できるようになりました。学生会のスタッフが中学生の横について勉強を見てあげたり、高校生活についてのアドバイス、学生

会への繋ぎをしてくれました。

講師として指導を進めていく中で、塾や家庭教師の経験を尋ねたところ、過半数が未経験ということでした。指導中はみんな真剣に話を聞く姿勢でしたので、私も勉強のコツを一つでも多く吸収してもらいたいと熱が入りました。今回の参加者は中3三名、中2一名、中1一名の計5人でしたが、今後もっともっと沢山の中学生に参加して頂きたいと思います。

記・穂山清太郎

布教部

布教者研修会



△講師の上村善孝先生

教区布教部では、去る1月29、30日(1泊2日)、恒例の「第11回 布教者研修会」を開催。

講師は、秋津大教会長 上村善孝先生。

第1講は、「にをいがけからおたすけへ」と題して、先生ご自身の「にをいがけ」に出ざるを得ない状況から始まった「にをいがけ」が、「おたすけ」へ移行していった体験談をお話しくだされた。

その後の「質疑応答」では、先生のご配慮から「にをいがけ」と「質疑応答」を半分のグループに分け、「質疑応答」が少人数で行きわたるようになってくださり、充実した「質疑応答」となった。

夕づとめに続いて夕食を頂き、その後は初めての試みによる分科会形式での「維新塾」「おさづけ」「おたすけ相談室」「布教相談室」「教祖伝逸話篇に学ぶ」「陽気ぐらし講座開催の手引き」

「女鳴り物のお手入れ」7つの講座を行った。参加者からは概ね好評を得た。

明けて2日目。第2講は、「おたすけ」と題して、身上や事情、先生が体験された、様々なおたすけ話をご教授くださった。

その後の「質疑応答」では、参加者からのたくさんさんの質問に対して、即答でお答えいただいたが、時間内にすべての質問を終えることができず、残りの質問は後日お答えを頂く承諾を得て、



△ねりあいの様子



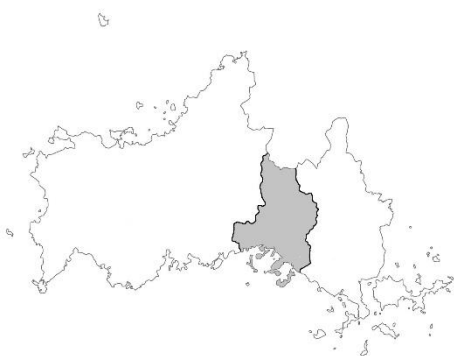
「質疑応答」を終えた。

閉講式では、真鍋萌佳さん(周海分教会)がすばらしい決意表明をしてくださり、参加者全員が更に「勇み」を頂いて、今回の「布教者研修会」は幕を閉じた。参加者は77名。

立教182年4月29日(月・祝) 全教一斉ひのきしんデー 山口教区会場一覧

支部	時間	会場名	集合場所/雨天時
岩国	9:00～11:00	蜂ヶ峯総合公園バラ園	小雨決行
周東	8:30～11:00	特別養護老人ホーム高森苑	雨天決行
	8:30～11:30	特別養護老人ホーム錦苑及び介護老人保健施設あさぎりの郷	駐車場/小雨決行
大島	8:00～10:00	久賀共同墓地および明治百年記念公園	久賀共同墓地/小雨決行、雨天中止
	8:00～10:00	三ツ松海岸	三ツ区民館横/小雨決行、雨天中止
	9:00～11:00	内入児童公園	小雨決行、雨天中止
	9:00～11:00	志駄岸八幡宮境内地	小雨決行、雨天中止
柳井	9:00～13:30	伊保庄マリナパーク	
熊毛	9:00～12:00	社会福祉法人城南学園	雨天決行
周徳	9:00～12:00	周南市交通教育センター	センター2階/雨天決行
防府	9:00～12:00	毛利氏庭園	庭園内広場/雨天順延
北山口	9:00～12:00	特別養護老人ホーム山口あかり園	ゲートボール場/雨天決行
山口	8:30～15:00	社会福祉法人清光園	雨天中止
	9:00～11:30	幸崎公園	小雨決行、雨天時会場変更(教務支庁)
	9:00～14:30	秋吉台家族旅行村	小雨決行、雨天時会場変更(教務支庁)
宇部	8:30～12:00	宇部護国神社	小雨決行、雨天順延
厚狭野	9:00～14:00	東行庵	雨天順延(30日)
萩	9:30～11:30	香月泰男美術館	駐車場/小雨決行、雨天順延(30日)
	6:30～8:00	福奈分教会	雨天決行
	7:00～9:00	見島宇津港渡船場周辺	渡船場待合所/小雨決行
	8:00～12:00	見島分教会周辺	教会/小雨決行
	8:00～9:30	福賀忠魂碑広場	小雨決行
	9:00～12:00	久原公園	
	8:30～11:30	長門峡県立自然公園入り口	雨天順延
	9:00～11:00	菊ヶ浜海水浴場市営駐車場	雨天順延(30日)
	9:00～12:00	徳佐分教会周辺通学路	教会/雨天順延(5月5日)
	9:30～11:30	只の浜海水浴場	雨天順延(30日)
下関	10:00～12:30	瀬戸内海国立公園火の山公園	山頂/雨天順延(30日)

@Yamaguchi
Kibiru
周徳支部



周徳支部は、周南市（旧熊毛町、須万地区、金峰地区を除く）と下松市の二市からなります。周南市は先年の合併により、東は鹿野町から、西は防府市手前の湯野までと、東西に広くなりました。下松市は周南市に囲まれた様な場所に位置しております。支部には、山あり島あり工場あり温泉ありと、生活環境も様々な中に現在 24 ヶ所（周南市 15、下松市 9）の教会があります。昔は、毎月の支部例会も各教会を順番に会場として回っておりましたので、色々な地域に行ける楽しみもありましたが、今は駐車場問題が大きくて、下松市の公民館を利用させて頂いております。

これまでは、おつとめ総会や運動会、バイパスの清掃の早朝ひのきしん等、活発な活動も多かったのですが、ここ暫く大きな活動はなかなか軌道に乗らない年が続きました。その低迷期の様な雰囲気打破していきたいという努力の真っ最中で、何とか活動を盛り上げていこうという若い人達と婦人会の協力の下に、昨年は笠戸島でバーベキューを楽しみながら、少年会は釣り大会と、老いも若きも集って親睦会を致しました。当日は好天に恵まれて、綺麗な海を眺めながら、和気あいあいと楽しいひと時を過ごしました。

各部各会の定例の行事は勿論、各々の努力は欠かす事なく、皆さん勇んで努めておられます。その中でも婦人会は、高齢化、少子化による厳しい状況の中でも、コツコツと地道に活動を続けて来られました。正に「継続は力なり」と感じます。これまでに救命講習会や認知症の勉強会、女鳴物勉強会など、様々な分野のおたすけに目を向けて、学びの場を設けてきました。毎年、今年は何を勉強させてもらおうかと、楽しみにしております。

また、布教部は小さな情報でも大切に活かして、案内も細やかにされています。その成果は、にをいがけデーの初参加者の増加にも繋がっております。今はなかなか大きな行事は出来ない状況ですが、声を掛け合い、皆で練り合いながら、持ち場立ち場での御用も大切に、たすけ合いの姿勢で仲良く支部活動に取り組んでいます。

